

競技注意事項

1. 本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則・本大会申し合わせ事項により行う。
2022年1月1日にWA競技規則TR5の改正と、新たな「競技用靴に関する規定」に基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長はいつでもシューズチェックする権限を持ち、参加者はその指示に従わなければならない。競技後シューズの違反が認められたときは、「失格扱い」となり、記録が取り消される場合がある。(スパイクピンのチェックは1次招集時に行う。)

なお、「競技用靴に関する規定」については、2部及び健康マラソンには適用しない。

競技用靴・靴底厚さ表

種目	靴底最大の厚さ	要件・備考
フィールド競技(除:三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは40mm)
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

※ただし、フィールド競技用シューズについては、規則・規定適用を除外する。

2. 競技場について

- ① 競技者・付添等関係者の最初の入場は出場種目開始時刻の2時間前からとし、1F正面入口のみとする。
- ② 再入場はマラソングートのみとし、1次招集で受け取った選手証を競技役員に提示すること。退場はマラソングートを使用すること。
- ③ 無観客競技会として開催するので、スタンドは開放しない。
- ④ 正面玄関ホール附近および室内練習場での場所取りをしないこと。

3. 更衣について

- ① 競技者の更衣用として、更衣室を男女別に各1室を開放する。
- ② 更衣室内の使用は10人までとし、更衣後は直ちに退出すること。なお、マスク着用のうえ会話はしないこと。更衣した荷物を置かないこと。
- ③ シャワーの使用は禁止する。

4. 練習について

トラック種目の練習はバックスタンド外側練習場とする。

投てき種目の練習は危険をとまなうので、各種目とも競技開始前に、競技役員の指示により、投てき場内で行うこと。

5. 招集について

① 1次招集 招集場所：室内練習場内

競技開始時刻の2時間前～1時間前までに「体調管理チェックシート」を提出し、選手証を受け取りアスリートビブス・スパイク等の確認を受けることで一次招集完了とする。

② 2次招集 招集場所：現地（トラック種目：スタート地点、フィールド種目：競技場所）

	二次招集【現地 招集開始時間】	招集完了時間
トラック競技	競技開始の15分前	競技開始の10分前
フィールド競技	競技開始の50分前	競技開始の40分前

③ 1次、2次招集に遅れた競技者は欠場として処理する

④ トラック競技において、予選通過後の決勝の招集は現地（スタート場所）で行う。競技開始時刻の15分前開始、10分前完了とする。現地招集時にシール式腰ナンバー標識を受け取り、右腰に貼ること。

⑤ リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに競技者係へ提出すること。提出するオーダー用紙は招集所で配布する。

⑥ 競技者は、プログラムに記載されたアスリートビブスで出場すること。変更はできない。

⑦ 欠場する競技者は欠場届を競技者係に事前に提出すること。

6. 競技について

① トラック競技の出場者は一時招集場所で腰ナンバー標識を受け取り、右腰に貼る。

② 競技用具は原則として競技場備え付けのものを使用する。但し、競技者は競技の前に検査を受けて承認され、かつ全競技者が使用できる場合は自分の用具の使用ができる。

（検査は競技開始2時間前から1時間前までに検査を受けること（ヤンマーフィールドスタジアム長居用器具庫）とする）

③ 走高跳のバーの上げ方

男子 1m60 練習－1m65 以降 5cm アップとする。

女子 1m40 練習－1m45 以降 5cm アップとする。

④ 三段跳の踏切板の位置は当日、跳躍審判長が決定する。

⑤ 5000mと健康マラソンの競技打ち切りについて

1部一般は20分

1部壮年、2部一般、2部壮年、オープン男子、オープン女子は25分

健康マラソンは30分とする。

※それぞれに打ち切り1分前に新しい周回に入れない。

7. 表彰について

(1) 各種目、1位～3位までの入賞者に賞品を授与する。（1・2部に限る。）成績発表後直ちにエントランスへ賞品を取りにくること。

(2) 団体対抗は男子1部、2部とし、それぞれ6位までの入賞者の得点合計により総合順位をきめる。

総合得点が同点の場合は、上位入賞者の多い団体を上位とする。

団体対抗各種目入賞者の得点は1位7点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とする。

(3) 団体総合1位～3位までに賞状、優勝団体には優勝楯を授与する。

6. 免責事項について

- ① 競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。
- ② 新型コロナウイルス感染症の感染状況により急遽、競技会について変更になる場合がある。
- ③ 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

7. その他

① 記録は、電光掲示板および大阪実業団ホームページ

(<http://www.oaaa.jp/jitsugyo/22T&F/results/kyougi.html> 下のQRコードで読み取り) 確認すること。記録ボードは設置しない。

② トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らないこと。

③ 声を出しての応援は禁止する。

④ 横断幕、のぼりの設置は禁止する。

⑤ トラック及びフィールドの助走路はすべて全天候舗装のためスパイクピンの長さは9mm以内とする。(走高跳とやり投は12mm)

⑥ 通信機器(携帯電話等)を、トラックまたはフィールド内に持込んではならない。

⑦ ごみ箱は設置しないため、ごみ等は必ず持ち帰ること。

⑧ 持ち物は、各自で責任を持って管理すること。

⑨ アスリートビブスがない場合、番号布を販売(200円)するので、各自で作成すること。

サイズは横24cm以内×縦16cm以内 文字の高さ6cm～10cm 文字幅は遠くからでも判読可能なように1cm程度の太さで記載のこと

⑩健康マラソンで貸与したアスリートビブスはフィニッシュ後必ず返納すること

⑪健康マラソンの出場者は、一次招集場所で完走証を受け取ること。

(フィニッシュ地点設置の時計でタイムを確認して各自で記載すること)

記録速報web (大阪実業団体育協会ホームページ内)

